

岡森連時報

発行

岡山県森林組合連合会
岡山市北区岡南町2-5-10電話 086(222)7671
FAX 086(224)2655ホームページ
<http://www.okmoren.or.jp>

迎春



▶瀬戸内海からの日の出
(写真元) 晴れの国写真館



岡山県森林組合連合会

代表理事 会長

小野 泰弘

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

平素は、森林組合系統の業務運営につきまして、特段のご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るい、日本経済のみならず世界経済にも甚大な影響を及ぼし、コロナ禍における対応に苦慮した一年となりました。

これに伴う需要の減退や事業活動の停滞等環境が激変し、林業・木材産業にも大きく影響を及ぼしており、新しい生活様式を取り入れ、事業の継続をしていくことが喫緊の課題となっています。



近年の森林・林業を巡る状況は、戦後造成された人工林が成熟を迎える中、森林を適切に管理するとともに、森林資源の循環利用を進めることが必要とされ、我々、森林組合系統においては、森林所有者の協同組織として組合員の負託に応え、豊かで健全な森林を次の世代に引き継いでいくとともに、林業の成長産業化の実現に貢献することが期待されています。

こうした中、昨年4月には、森林組合法の一部が改正され、森林組合は、森林経営管理制度の担い手である「意欲と能力のある林業経営者」として、森林の有する公益的機能の維持推進を図りつつ、経営基盤の強化を図ることが求められます。

当会におきましては、県下3箇所にある木材共販所において、用途に応じた適正な仕分けや造材支援により出荷材に付加価値を付け、山元により多くの還元をもたらすことを第一に、県産木材の安定供給に努めており、合法で適正な森林管理が行われている森林に対して認証される、FM認証林が県下で増加していることから、流通過程で必要と

される「COC認証」を取得し、県産木材の安定供給に努めております。

さらに、再造林費や下刈経費を5年間支援する「皆伐・再造林促進支援事業」や林業現場における技術者の確保・育成を推進する「緑の雇用事業」などを強力に推進し、「林業の成長産業化」の一翼を担うよう努めているところであります。

さて、当会では、現在、岡山市北区檜津の木材センター敷地内に県産材を使った木造平屋建ての本会事務所の新築移転工事に着手しているところであります。新事務所での業務開始時期は改めてご案内をさせていただきますが、役員一同、より一層精進していく所存であります。

結びに、新型コロナウイルスの感染拡大が終息に向かい、新しい年が、皆様にとりまして希望に満ちた明るい年となりますよう、心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。



謹賀新年
本年もよろしくお願いたします
令和三年 元旦

岡山県森林組合連合会

代表理事 会長	小野 泰弘
副会長 理事	西本 健三
代表理事 専務	池田 稔
理事	竹本 俊郎
理事	井上 稔朗
理事	丸田 一徳
理事	鳥越 康生
代表 監事	長代 直行
監事	小椋 美博
監事	小橋 仙敬
監事	實村 文昭
監事	井上 純一
総務部 次長	森岡 保博
事業部 次長	阪本 明日香
総務課 長	小松 庸介
企画指導課 長	小川 誠
木材センター 所長	奥山 総一郎
新見支所 長	近藤 晃
勝山支所 長	大山 淳
津山支所 長	

役員一同





岡山県農林水産部長
模尾 俊之

新年あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、平素から森林・林業行政をはじめ県行政の全般にわたり、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

現在、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、大変厳しい状況にありますが、県では、農林漁業者の経営と暮らしを守る対策に全力で取り組む所存です。

さて、本県のヒノキをはじめとする人工林は、本格的な利用期を迎えており、豊富な森林資源の循環利用に向けて、意欲と能力のある林業経営体を育成しつつ、新たな木材需要の創出や安定的・効率的な県産材の供給体制の構築等を進め、林業の活性化を図ることがますます重要となっております。

ます。

県では、こうした課題に対応するため、昨年3月に改訂した「21おかもま森林・林業ビジョン」に基づき、経済性に着目した森林の区分による計画的な伐採や県産材の利用促進、少花粉スギ・ヒノキへの植替えなどに取り組み、林業の成長産業化と自然環境の保全を通じた公益的機能の確保を目指すこととしています。

また、経営管理が適切に行われていない森林について、市町村が主体となつて意欲と能力のある林業経営者へ森林経営の集積・集約化等を行う森林経営管理制度の運用が開始され、県では、この制度が円滑に推進されるよう、市町村職員等の人材確保や育成、森林情報の充実、林業経営体の健全な育成などに取り組んでいます。

さらに、喫緊の課題である新型コロナウイルス感染症対策への対応とともに、平成30年7月豪雨により被災された農林漁業者の方々へのきめ細かい支援と災害に強い岡山の実現に全力で取り組んでいます。

岡山県森林組合連合会

及び各森林組合におかれましては、地域や森林の現状に精通した林業経営の中核的担い手であり、意欲と能力のある林業経営者として収益性の向上と効率的かつ安定的な森林経営に取り組み、地域の森林整備と県産材の安定供給にご尽力賜りますようお願いいたします。

最後になりますが、皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます、新年のごあいさついたします。



農林中央金庫
岡山支店長
熊倉 竜也

謹んで新年のお慶び申し上げます。皆様におかれましては、当金庫業務につきまして、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、人・物の流通が制限され世界経済は歴

史的な低迷に陥り、米国では大恐慌以来の失業率となりました。国内経済では、東京オリンピックが延期となりインバウンド需要が減少となる等、様々な業界において先行きは不透明となっております。

本年におきましては、新型コロナウイルス感染症のワクチン開発をはじめ、新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息をお祈り申し上げます。

森林・林業におきましては、岡山県下のバイオマス発電所が真庭市に続き、新見市において新たに昨年5月より稼働しております。年々SDGs・ESGの関心が高まる中、このような循環型林業としての取組は今後必要不可欠なものであると認識しております。また、本年4月には森林組合法の改定が控えており、森林組合系統の皆様におかれましては大きな転機を迎えることになるものと存じます。

当金庫は、林業ならびに森林組合系統の皆様の更なる発展に向け、適切な金融機能の発揮・多様な支援を掲げて活動を進めて参りました。国産材利用拡大の支援において

井原鉄道へ「井原デニム」を座面に活用した県産材ベンチの寄贈、および閑谷学校での木育教室の実施に取組みます。

また、組織強化支援では、森林組合系統理事・参事を対象とした研修や、森林管理制度・森林環境譲与税に関する全森連との連携サポート等を実施いたしました。施業の高度化支援では、安全装備等購入費用の助成や全国優良事例の展開といったセミナー開催に取り組んでおります。

本年も皆様のお役に立てるよう、これまで以上に一層積極的に取組を行う所存でございますので、引き続きご指導・鞭撻を賜りますよう、よろしくお祈り申し上げます。



森林保険

本年も森林保険の加入促進等のご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。





全国森林組合連合会

代表理事会長

村松 二郎

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

平素は、弊会の業務運営につきまして特段のご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、何と申しましても新型コロナウイルス（COVID-19）の世界的な感染拡大という、全く予期しなかった事態に苛まれた一年となりました。

未知のウイルスによる健康被害と、感染拡大を防ぐための活動自粛措置による経済的打撃という先行きの見えない二重苦に直面するとともに、日常生活や社会活動の在り方も一変してしまいました。

この困難な中、皆様には森林組合系統の事業活動継続のため、ご支援、ご尽力をいただきましたことに厚く御礼を申し上げます。残念ながら今もって感染の収束は見通せませんが、こ

の正念場を森林組合系統の結束で乗り越えていかねばならないと考えています。そして、ウィズコロナということで、十全に感染予防に努めながら、必要な取組は進めていかなければなりません。

森林経営管理制度の着実な推進に向けては、地域の森林管理主体である森林組合系統が中心となつて取り組んでいく必要があります。令和2年度から400億円に増額された森林環境譲与税を地域林業に有効に活用するためにも、市町村と連携しながら森林所有者への意向調査や、意欲と能力ある林業経営者への登録を進めているところ です。

一方で、林道や路網の整備は未だ遅れており、こうした林業生産基盤を早急に整えていく必要があるほか、境界不明や所有者不明森林の増加に対し、ICT技術の活用も含めた林業イノベーションを進め、林地情報の活用による施業の集約化・効率化が求められるとともに、伐つて、使つて、植えて、育てるというSDGs時代に即した国産材利用の拡大も必要です。

こうした中、昨年、森林組合法が改正され、森林組合系統の経営基盤強化に向

け、合併以外の事業譲渡・吸収分割・新設分割といった多様な連携手法が導入されることとなったほか、正組合員資格の拡大や業務執行体制の強化策が講じられることとなりました。

現在、次期森林組合系統運動の基本方向のとりまとめに向け協議を進めているところですが、様々な施策・制度を活用しながら、森林組合系統の基盤強化や販売事業の強化等に向け、積極果敢な運動を展開していきたいと考えています。

また、近年、大規模災害が常態化しつつありますが、森林組合系統においても7月豪雨災害や9月の台風災害などにより、甚大な被害が発生いたしました。

被災地においては、今なお懸命に復旧・復興を進めていただいているところでありますが、被災系統への支援募金活動につきまして、大変多くのご厚志をお寄せいただきましたことに、改めて感謝を申し上げますとともに、事前防災、減災に向けての緑の国土強靱化を強く推し進めていかなければならないと考えます。

さて、弊会は先月、事務所を千代田区鍛冶町に移転いたしました。これを機に、森林組合系

統の発展と我が国森林・林業の振興に向け、役職員一同、より一層精進する所存でございますので、今後とも、倍旧のご指導、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、コロナ禍が一日も早く終息し、本年が皆様にとって幸多き一年となりますよう祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

職員紹介

へ津山支所 竹花祐治



新年あけましておめでとうございます。昨今新型コロナウイルス禍中ですが、皆様には健やかな年頭を迎えられたことと思います。

さて、昨年7月から当会で「緑の雇用」担当としてお世話になっております竹花（津山市在住）と申します。現職中は林野庁等で、

森林林業業務を担当し、週末は家内共々高山植物を求めて登山を楽しんでいます。一方、子供3人（女子）は家内に育てあげ、既婚の長女（以外は独身謳歌中）は長男に続き双子（男）の三児の母として埼玉で奮闘しております。私は、単身Uターン（家内は孫の世話で当面埼玉で）し、現職当時の経験が生かされる仕事（週末はもっぱら草刈り）を通じて、森林林業及び本会の発展に貢献できればと思量としており、今後ともよろしく願っています。

理事会を傍聴して

企画指導課 林 亮

「なぜ収支が減なのか」「なぜ増なのか」をもっと意識し、訓練し続けたい。いけななと感じました。今までは漠然と大雑把にしか考えていませんでしたが、損益実績前年対比の説明で、前年となぜ差が出たかを端的に理事の皆様説明しているのを聞いたことから、その必要性をより実感しました。

また、自身が携わってきた事業以外の把握は難しいことですが、いずれは出来ないといけないことだと思

います。1人の後輩の事業進捗や状況ですら把握することができていないので、少しでも改善していこうと思いました。

事業実績の説明の中でも、例えば買取販売、委託販売などの言葉もあがりました。それぞれの特徴や流通の中での違いは今の自分には説明できないなあと感じましたし、木材共販について理解できていない内容も沢山あったので、早く学んでいきたいと感じ、刺激になりました。

また、この役職ならここまでできないといけない、管理職ならここまでできないといけないなど、明確なキャリアプランがあれば、目標が明確になり、何を勉強したら良いのかが分かりやすくなるので、今後作成できたら良いなと思いました。





▲研修を修了したフォレストリーダー

岡山県では昨年に引き続き2回目のフォレストリーダー研修を開催しました。今年度はコロナウィルスの影響で資格等の取得が心配されましたが無事に終えることができ、新たに19名のフォレストリーダーが誕生しました。

フォレストリーダー研修ではフォレストワーカーからのキャリアアップを目的としているため、「コスト管理」「人材育成」等、指導者としての立ち位置についても研修しており、これからは、自分の技術向上や安全意識はもちろんですが、作業班員、新人等への教育についても期待しております。

フォレストリーダー 研修



▲研修を修了した緑の雇用3年生研修生

令和2年度12月4日、緑の雇用3年生の集合研修が終わり、新たに19名のフォレストワーカーが誕生しました。

緑の雇用のカリキュラム及び資格をすべて修了して、研修最終日の修了証授与式では研修生一人ひとりに、研修3年間の感想と、これからは、研修生ではなく、一人前の林業従事者としてどうしていくかの、決意表明をしていただきました。

多数の方が「とにかくケガをしないのが一番」と安全に対してのことがありましたが、中には

緑の雇用集合研修が修了 新たに19名のフォレストワーカー誕生



▶修了証授与

「コロナが落ち着いたらみんなで飲みに行きましょう」とさまざまな意見がありました。

毎年、3年生の仲がよく、お互いに意見を言い合ったりと、切磋琢磨していく様子が多く見られました。今後も、横の関係を大切にし、安全第一で作業してくれたらと思います。

岡山の林業を担って行けるような活躍を期待します。

令和3年県森連木材共販所の日程(1~2月)

市日	場所	備考
1月8日(金)	勝山→津山	初市
1月13日(水)	新見	初市
1月20日(水)	勝山→津山	-
1月22日(金)	新見	-
1月29日(金)	勝山→津山	-
2月3日(水)	新見	-
2月9日(火)	勝山→津山	特別市
2月12日(金)	新見	-
2月17日(水)	勝山→津山	特別市
2月24日(水)	新見	特別市

第1965回 新見共販所市況令和2年12月23日

長さ	径級(cm)	杉(千円/m)			径級(cm)	桧(千円/m)		
		大曲	小曲	直		大曲	小曲	直
3M	13 下	-	本270	本300	13 下	-	本270	本300
	14 ~ 16	6.5	-	11-	14	6.5	-	11-
	18 ~ 20	6.5	-	11-	15 ~ 16	15-	16.5	20-
	22 ~ 28	6.5	-	11-	18 ~ 20	15-	16.5	17-
					22 上	10-	16-	17-
4M	12 下	-	本370	本400	7 ~ 13	-	本370	本400
	14 ~ 16	7-	-	10-	14 ~ 18	8-	18-	19-
	18 ~ 20	7-	8.5	9.5	20 ~ 22	13-	16.5	17.5
	22 ~ 28	7-	8.5	9.5	24 ~ 28	13-	16.5	17.5
	30 上	7-	8.5	9.5	30 上	13-	16.5	17.5
6M	16 ~ 18	-	-	-	16	-	-	-
	20 ~ 22	-	-	-	18 ~ 20	-	24-	28-